

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	山口市家庭教育支援チーム (呼称:川東チーム わかば)
②活動拠点	陶地区 名田島地区 鑄銭司地区 二島地区 秋穂地区
③活動範囲	山口市内
④組織体制	<u>5 人</u> 民生委員・児童委員2名、元民生委員・児童委員・主任児童委員1名、 地域学校協働活動推進員1名、市民団体代表1名
⑤活動開始年度	2019 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 山口市教育委員会社会教育課 (TEL)083-934-2865 (E-mail)s-kyoiku@city.yamaguchi.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☒ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) { ☒自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☐ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ・就学時健診等の際の家庭教育講座 就学時健診や仮入学などの際に山口県教育委員会や山口市教育委員会が実施する家庭教育講座に協力し、保護者への声かけやグループワークの際のファシリテーター役などを担い、保護者とのつながりづくりに努めている。 ・保護者カフェ 参観日や中学校立志式などの行事で保護者が学校に来られるとき、学校の一室を借りてカフェを開き、保護者同士やアドバイザーと話をする機会を設けている。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	・就学時健診等の際の家庭教育講座には多くの保護者が出席するため、家庭教育アドバイザーと保護者が直接かかわることができ、地域の家庭教育アドバイザーの周知につながっている。また、グループ協議では参加者が和やかに話をする場面が多く見られ、保護者同士の横のつながりづくりの場ともなっている。 ・保護者カフェでは、児童生徒の学校での活動をカフェ会場に展示したり、学校作成の動画を放送したりすることで、集まりやすい環境になるように工夫している。保護者の参加は少数だが、家庭教育アドバイザーの活動周知の場ともなっている。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☐ その他の支援により活動を実施 ()